

事業所名 放課後等デイサービスすみれ下土持教室

支援プログラム

作成日 2026 年 2 月 5 日

法人(事業所)理念	スタッフの笑顔が子供とその家族の笑顔を作る。笑顔の連鎖を作り地域社会に貢献する。		
支援方針	・笑顔で安心して過ごせる居場所となり、小集団で過ごすことでコミュニケーション力を学んだり、思いやる気持ちが生えるような支援を行う。		
営業時間	9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<p>目的 身の回りのことを自分でできるようにする。生活力を身につけよう！</p> <p>どのように？ 生活する中で自分でやってみようという意欲を引き出すため、必要であれば声掛け、援助を行い見守りながら支援を行う。</p> <p>療育詳細 手洗い・整理整頓・食事マナー・避難訓練・時間管理・連絡帳の提出</p>	
	運動・感覚	<p>目的 粗大運動・微細運動を遊びの中で経験し生活に必要な身体機能を向上させる。好きな遊びを見つけて自分を表現しよう！</p> <p>どのように？ 日々の遊びの中で体を使った遊びや工作の時間を作り楽しみながら全身を使う機会を増やしていく。集団活動や個別活動内容を設定し課題として取り組む。</p> <p>療育詳細 散歩・外遊び・季節行事・工作(ハサミ、のり)・鬼ごっこ・ひらひらキャッチ・風船バレー・折り紙・ツイスターゲーム・すごろく・タオとりゲーム・バランスストーン・ヨガ・空手</p>	
	認知・行動	<p>目的 声掛け以外の情報(動き、写真、動画、掲示物、時計)をヒントにして場所、時、状況に応じて自ら行動する力を身につける。 季節による自然や人の生活に変化があることに気が付き、季節行事を楽しもう！</p> <p>どのように？ 場面に合った声の大きさや次の活動への見通しなど絵カード等を利用して伝え理解を広げていく。 友だち同士でのトラブルの際など自分自身がどのように感じているのかを関わりの中や職員との話で理解し、自分の考え方を知っていく。 文字や数字を遊びやルールにも導入(かるた、トランプ、連想ゲーム)して、活動に面白さを感じ興味をひろげていく。 季節の行事を楽しめるイベントの開催や、実際に散歩に出かけて四季を体を通して感じていけるようにする。</p> <p>療育詳細 交通ルールの指導・声の大きさ・風船バレー・タオとりゲーム・時間管理・掲示物・絵カード・SST・ロールプレイ(感情カード、ここかると、)・話し合い(こんなときどうする？)</p>	
	言語 コミュニケーション	<p>目的 自分の気持ち要望を言葉で伝え、友達の言葉に興味を持つ。安心して発言ができる環境で気持ちを言葉にしよう！</p> <p>どのように？ 子どもの同士の関わりを見守ることを意識しつつ必要などころでは仲立ちに入り代弁などの援助を行う。 日々の生活で感じた様々なことを自分なりに言葉で表現できる場を作り、共感し認めていく。 個別や小集団でのSSTの時間を作り、自分の気持ち友達の気持ちへの理解を深める。</p> <p>療育詳細 SST・ロールプレイ・はあって言うゲーム・読書・話し合い(こんな時どうする？)・感想発表・ごっこ遊び</p>	
人間関係 社会性	<p>目的 友達と関わる中で興味関心を広げ一緒に遊ぶ楽しさを感じる。友達がいる素晴らしさを感じよう！</p> <p>どのように？ 玩具の貸し借り、ゲームの順番待ちなど仲立ちに入りながら対応方法を伝えていく。 様々なルールのある遊びを一緒に楽しむ中で友達と協力する経験を増やしていく。 職員に見守られながら友達とぶつかる経験をする中で友達の気持ちを知っていく。</p> <p>療育詳細 挨拶・接触遊び・怒りメーター・声の大きさ・言葉違い・SST・ロールプレイ・話し合い(こんな時どうする？)・ごっこ遊び・カードゲーム・転がしドッジ・ボードゲーム</p>		
家族支援	ご家庭での様子も含め、傾聴を大切に。健康状態に合わせて送迎の調整など適切な支援を努める。 お子さんの情報を送迎時やケース会議、LINE、コードモンなどのアプリを使い随時共有していく。	移行支援	園や学校、他事業所など関係機関との情報共有や連携調整。 進路や就学先についての相談援助や準備支援。
地域支援・地域連携	町の支援者の会議に参加。相談員さんとの連携を軸に自治会行事などに参加する。	職員の質の向上	研修と申し送り(情報の共有)、会議や講演会への参加
主な行事等	季節の行事(水遊び、いもほり等…)、他教室との共同遊び、おでかけ(公園、牧場、科学館)		